



佐藤さんの小かぶ



今年のキャベツは虫だらけで、捨てざるを得ない状況になってしまいました。



小かぶは防虫ネットのおかげで、虫はもちろん、台風の影響もなく順調に育ちました。



完熟たい肥で何十年も土作りをしてきたので、今はそれほど量を入れなくても畑は健康そうです。

★虫食いや台風を乗り越えて

佐藤さんの小かぶ、順調に出荷を続けています。ただ、いつもならキャベツも一緒に出荷をしているのですが、今年は虫が大発生したため1作目が壊滅してしまいました。「この4年、こんなことは無かったんだけどな」防虫ネットの中でも多少は虫が出るのですが、今夏は暑かったせいか大発生してしまい、ネットを外した時にはもう手遅れになっていたのです。しかし「今年のような猛暑の時の対応はもうわかったから、来年も同じように暑くなっても大丈夫だ」と、さすがベテランの言葉です。

一方、小かぶは大きな被害もなく順調に育ちました。虫はもちろん、今年は大きな台風が来ましたが「防虫ネットは虫除けもあるんだけど、台風の風除けでもあるんだよ」と、大風でも心配は無いように作っているそうです。栽培方法も例年通りマメ科や牧草などを育てて土を整えます。次に完熟たい肥を必要に応じて適度に入れ、夏場に透明ビニールで畑を覆って太陽熱で病害虫や雑草の種を焼いてしまいます。そして9月頭から数日毎に種を蒔くことで継続的に出荷できるように育てます。そして、出荷が始まると毎日200袋を超える袋詰めを行い、同時並行で落花生の収穫を行うなど多忙な日々が続きます。それでも「畑でとるだけなら簡単だけど、ボケないように袋詰めのような手先の仕事もしないと(笑)」と持ち前の明るさで笑いながら、若き頃に体操で鍛えた体を使って、今日も元気に畑や出荷場を飛び回っています。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎新人参、キャベツは11/10から出荷開始予定です。長ねぎは12月から出荷再開予定です。